

共に生きる石巻を作り出す連続公開講座

私たちは「共に生きる石巻を作り出す連続公開講座」を行っています。
この講座では、障がい児・者と健常者が共に生きる地域社会を構築していくために行動してこられた方々を全国からお招きし、これから私たちがく 誰にとっても住みよい街・石巻 > を作っていくための手がかりにしていくことを目指しています。

第4回「震災後を生きる」

3月10日(日) 13:30~16:00

講演者 牧口 一二さん (大阪府)

「認定NPO法人ゆめ風基金」代表理事

会場：石巻市保健相談センター(石巻市鑄銭場1-27)

参加費：無 料

- * 駐車場に限りがあります。停められない場合は有料駐車場をご利用ください*
- * 託児の必要な方は、裏面の連絡先まで事前にご連絡ください*



1995年1月17日午前5時46分淡路島北部を震源とする「阪神・淡路大震災」が発生。倒壊した阪神高速道路や家屋、燃え盛る街並みの映像が大きく報じられました。一日平均2万人超、3か月間で延べ117万人ともいわれるボランティアが活動し、この年は日本における「ボランティア元年」となりました。その中で普段の助け合いネットワークを活用し、いち早く炊き出しを実施したのが、地域の障がい当事者達でした。しかし、残念ながら障がい者に対する支援はことごとく後回しにされ、そのことを教訓に日頃から備えを！と立ち上がったのが「ゆめ風基金」です。呼びかけ人と共に全国にゆめ風ネットと呼ばれる支援団体ネットワークを持ち、障がい当事者自らが街頭募金を実施しながら基金を支え、防災、提言、被災障がい者支援活動等に尽力してきました。

2011年3月11日午後2時46分東北関東大震災発生直後も「ゆめ風基金」のみなさんはいち早く東北に駆けつけ、被災障がい者へ支援の手を差し伸べて下さいました。阪神・淡路大震災以降も国内外での災害時に被災障がい者支援を行ってこられた牧口さんと共に、石巻・宮城の再生のためにこれから何が必要なのかを考えます。

- ◆主催：被災地障がい者センターみやぎ
- ◆後援：NPO法人障碍児と共に歩む会・石巻重症心身障害児(者)を守る会
NPO法人輝くなかまチャレンジド 地域活動支援センターこころ・さをり
石巻日日新聞・石巻かほく・ラジオ石巻FM76.4

まきぐち いちじ
牧口 一二さん（大阪府 認定NPO法人ゆめ風基金 代表理事）

1937年8月、大阪市生まれ。翌年伝い歩きを始めた頃にポリオ（脊髄性小児まひ）にかかり歩けなくなり「障害者」の資格を得る。6歳になり、母におぼわれて小学校（地域の学校）に出向くが「空襲のとき危ないから」と入学を拒否され、敗戦後9歳で小学1年生となる。2年生の夏休みに松葉づえを覚え、通学できるようになる。以後60歳まで松葉づえ歩行、「免許皆伝」の腕。その後、障害のない友と一緒に中学・高校・美術学校デザイン科を卒業したが、全く就職できず「障害者」を自覚、26歳の時、美術学校時代の同窓生4人と共同経営のデザイン会社を設立し、企画、コピーライト、レイアウトなどを担当した。仕事の傍ら、障害者の社会進出を目指して、駅舎にエレベーターを設置させる市民運動などを展開。30年前から全国の小・中・高校を巡り「世の障害、障害者観のイメージチェンジ」を試みる講演活動を行い、訪問校は2,200を数える。60歳ごろから階段の昇降が危なくなり車イス歩行に替える。

大阪市立大学・教養部、関西学院大学、桃山学院大学にて講師を務める
自然災害・人災で被災した障害者を支援するためにNPO法人ゆめ風基金設立、代表理事
誰でも乗れる地下鉄をつくる会 代表
障害者文化情報研究所 所長
駅にエレベーターを！福祉のまちづくり条例を！ 大阪府民の会 代表
大阪府・大阪市主催「心ふれあうまちづくり賞」審査委員
大阪市主催「まちのやさしさ発見」中学生・高校生レポートの審査委員長
NHK「ハート展」応募詩の選考委員
NHK「きらっといきる」レギュラー司会者として10年間番組出演
1998年「朝日社会福祉賞」受賞（朝日新聞社）
2008年「ヘレンケラー社会福祉賞」受賞（青鳥会）

「被災地障がい者センターみやぎ」について

2011年3月、東北地方太平洋沖地震で被災した障がい児・者への支援を目的に、同年3月31日、阪神淡路大震災を教訓に設立された「NPO法人ゆめ風基金」及び「東北関東大震災障害者救援本部」の全面的なバックアップを受け、14の障がい者支援団体が団結して「被災地障がい者センターみやぎ」を設立しました。

その後は、宮城県内において、被災状況調査、ニーズの把握、金銭的・物的・人的支援を行い、現在は仙台市、石巻市、南三陸町の三つの拠点で事業を進めています。

ここ石巻では事務所を蛇田に置き、障がい当事者を含むスタッフが、障がい児・者への支援、生活しやすい街作りのための調査・広報活動等を継続して行っています。私たちは、災害時において障がい児・者が犠牲になることがない街、障がい児・者と健常者が共に生きていく街、そんな街作りを目指し石巻地域の再生に取り組んでいます。

*この連続公開講座は「公益財団法人三菱商事復興支援財団」の「復興支援助成金」を受けて開催しています。

◆連絡先◆ TEL : 022-746-8012(仙台) 0225-25-5388(石巻)

MAIL : teesaanangel@yahoo.co.jp